

## 令和2(2020)年度科学研究費助成事業(学術変革領域研究(A・B))募集のご案内

標記の件について、文部科学省より通知がありましたのでご案内いたします。学術変革領域研究(A・B)は、「新学術領域研究(研究領域提案型)」を発展的に見直し、新たに創設された新種目となります。応募を希望される方は、必ず、公募要領をご確認のうえ、**2020年1月30日(木)**までに、リサーチ・イニシアティブセンターまでご連絡ください。

### I. 研究種目の概要

#### (1) 学術変革領域研究(A)

目的	多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。
対象	<p>学問分野に新たな変革や転換をもたらし、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域、又は当該学問分野の強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を目指す研究領域であって、多様な研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の推進により、革新的・独創的な学術研究の発展が期待されるもので、次の1)~3)の全ての要件及び該当する場合は4)の要件を満たすもの。</p> <p>1) 基礎的研究(基礎から応用への展開を目指すものを含む。)であって、複数の分野にまたがる研究領域の創成や革新的な学術研究の発展が期待されるもの。</p> <p>2) 「(i)国際的な優位性を有する(期待される)もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する(期待される)もの」。</p> <p>3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を変革することなどが研究領域の成果として十分に期待されるもの。</p> <p>4) 過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は他の研究費制度において採択された研究領域を更に発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分に得られており、それまでの成果を踏まえ、更に強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているもの。</p>
応募金額	1研究領域の応募金額は、単年度当たり5,000万円以上3億円まで。 なお、真に必要な場合には、1研究領域の応募金額の上限を超える応募も可能。
研究期間	5年間(左記以外の研究期間の応募は審査に付されない)
採択予定領域数	令和元(2019)年度新学術領域研究(研究領域提案型)の採択数 <b>(18研究領域)と同数程度</b> の採択を予定
研究領域の構成	<p>(基準を満たしていない応募研究領域は審査に付されない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究領域は、「計画研究」及び「公募研究」により構成。</li> <li>・「計画研究」は、「総括班」と「総括班以外の計画研究」により構成。</li> <li>・「総括班」を必ず一つ設ける。また、「総括班以外の計画研究」及び「公募研究」をそれぞれ相当数設ける。</li> <li>・「総括班」は、主に研究領域全体のマネジメントを実施するための組織。研究の実施を目的とする計画は認めない。</li> <li>・次代の学術の担い手となる研究者(令和2(2020)年4月1日現在で45歳以下の研究者)を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が複数含まれる領域構成。</li> </ul>

#### (2) 学術変革領域研究(B)

目的	次代の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループ(3~4グループ程度)が提案する研究領域において、より挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域の創成
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	を目指し、将来の学術変革領域研究（A）への展開などが期待される研究。
対象	<p>学問分野に新たな変革や転換をもたらす、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域であって、少数・小規模の研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の短期的な取組により、革新的・独創的な学術研究の創成が期待されるもので、次の 1)～3)の全ての要件を満たすもの。</p> <p>1) 基礎的研究（基礎から応用への展開を目指すものを含む。）であって、複数の分野にまたがる研究領域や革新的な学術研究の創成を目指すもの。</p> <p>2) 「(i)国際的な優位性を有する（期待される）もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する（期待される）もの」。</p> <p>3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を変革する可能性を有することなど、学術変革領域研究（A）への展開などが期待されるもの。</p>
応募金額	1 研究領域の応募金額は、単年度当たり 5,000 万円以下。
研究期間	3 年間（左記以外の研究期間の応募は審査に付されない）
採択予定領域数	学術変革領域研究（A）と同数程度の採択を予定（ <b>18 研究領域と同数程度</b> ）。
研究領域の構成	<p>（基準を満たしていない応募研究領域は審査に付されない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域代表者は、次代の学術の担い手となる研究者（令和 2（2020）年 4 月 1 日現在で 45 歳以下の研究者）であることが必須。</li> <li>・研究領域は、「総括班」及び「総括班以外の計画研究」により構成。</li> <li>・「総括班」を必ず一つ設ける。また、「総括班以外の計画研究」を複数設ける。</li> <li>・「総括班」は主に研究領域全体のマネジメントを実施するための組織。研究の実施を目的とする計画は認められない。</li> <li>・次代の学術の担い手となる研究者（令和 2（2020）年 4 月 1 日現在で 45 歳以下の研究者）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が複数含まれる領域構成。</li> </ul>

## II. 応募方法

リサーチ・イニシアティブセンターから学内申請手続きに関して、説明を受けたのち、**2020 年 2 月 20 日（木）9 時**までに、学内申請手続きを完了してください。

## III. 応募から交付までのスケジュール（予定）

日程	内容
2020 年 1 月 9 日（木）	公募発表
1 月 16 日（木）	学内募集のご案内
<b>1 月 30 日（木）</b>	<b>申請希望のリサーチ・イニシアティブセンターへの連絡期限</b>
<b>2 月 20 日（木）9 時</b>	<b>学内申請締切 2 月 20 日（木）9 時【厳守】</b>
3 月 16 日（月）16 時 30 分	日本学術振興会への申請書提出期限

- ・学術変革領域研究（A）  
4 月～10 月 審査（7 月上旬ヒアリング対象領域の選定） 10 月下旬 交付内定
- ・学術変革領域研究（B）  
4 月～9 月 審査 9 月下旬 交付内定

本件に関するお問合せ先

リサーチ・イニシアティブセンター（科研費申請担当）  
 【池袋キャンパス（12 号館 2 階）】 内線：4656 E-Mail：[kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp](mailto:kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp)

以上